

令和元年度

定 時 総 会

事業報告

～ 想いを型にするところ ～

NPO 法人 湘南スタイル



令和元年6月11日（火） 18：30～

茅ヶ崎市勤労市民会館

定 時 総 会 次 第

1. 開会挨拶

1. 理事長挨拶

1. 第 1 号議案 平成 30 年度 事業報告

1. 第 2 号議案 平成 30 年度 決算報告・監査報告

1. 第 3 号議案 令和元年度 事業計画（案）

1. 第 4 号議案 令和元年度 収支予算（案）

1. 第 5 号議案 役員変更

1. 第 6 号議案 定款変更

その他

1. 閉会の辞

＜総括報告＞

本年も無事、事業を推進できたことメンバーの皆さんに感謝いたします。

「想いをかたちにするところ湘南スタイル」をスローガンにし、早いもので設立から14年経過しました。

振り返ってみると2005年、自主事業で成り立たせるNPO運営を目指し、

- 湘南地域の情報発信ポータルサイト「湘南スタイル」の運営・広告募集事業
- 湘南地域の産業発展を目指した「湘南ブランド」の創出
- 湘南「海の駅・山の駅」建設提案

の事業を掲げ、産業・市民・公共機関の3分野をつなぎ、地域の活性化を目指してスタートし現在に至っています。

設立からの3年間は、志はあれど活動資金は乏しく、組織運営上大変厳しい時代でした。NPOを自主事業で成り立たせることは難しく、岐路に立っていた2009年、組織運営と地域課題解決の糸口と出会ったのは、神奈川県のパランタリー活動基金21に「湘南みかん木パートナーシップ」プログラムでエントリーし、4年間の協働事業を受託したと同時に、茅ヶ崎市の市民提案型協働事業「食と農のポータルサイト・おいしい茅ヶ崎」の事業受託でした。

2つの行政との事業受託したことで、事務局職員の人件費を計上することができ、NPOとして組織運営上、自立の目途が立ったことが大きなきっかけとなりました。

2つの協働事業をきっかけに「食と農」をテーマに社会課題解決のための視点でメンバーが知恵を出し合った結果

1. 茅ヶ崎市産米使用災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発
2. 農水省6次産業化支援事業の神奈川県内の農水産業者42社に対し、4名のランナーを派遣し、6次産業化の礎を築く事業の実施。

引きつづき、農水省「農ある暮らしづくり交付金」の受託により「ふれあい田んぼ塾」「ふれあい畑塾」の事業を実施、持続可能な仕組みを築いてきました。

3. 続いて、茅ヶ崎市との6課連携による「茅ヶ崎100年PJ」として、現「道の駅」予定地一帯の柳島向河原地区アクションプランとしての土地利用基本計画を茅ヶ崎市より業務委託を受け冊子を制作し、茅ヶ崎市へ提示しました。
4. その後、茅ヶ崎市の市民提案型協働事業を通じ、「FuboLabo」「文化生涯ポータルサイト」「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」など、茅ヶ崎の情報発信に協力し、団体としてのWeb発信力を築くことができました。

湘南地域の情報ポータルサイトを築くため、設立当初湘南地域の有力企業に2年間かけて80社ほど営業活動に回った苦労を思い出します。そのような中で慶応大学SFCとの産学連携で「人参焼酎さん」の開発・「浜降祭ライブ中継」や環境保全の視点から「ベロタクシー」の運行など厳しい経営環境の中で、NPOとして、どのような運営・資金計画をしていくべきかを学習した時期でした。

以降、コミュニティビジネスを通じての事業は、どの事業も在庫リスク「0」の仕組み

形成で、受注や参加を確定してから運営を開始することを基盤に進め危険リスクを回避しています。是非事業者の方は、参考にして下さい。

2009 年、神奈川ビジネスオーディションにエントリーし、県知事奨励賞・経営士会賞・コミュニティビジネス賞の 3 賞を受賞し注目を浴びるNPOとなった。神奈川県中小企業センターより、経済産業省が新規開設するNPO出資事業の強い勧めがあり、10 年間の出資助成（劣後ローン）を受けることとなった。

本年度、実施事業の他、アグリビジネスコンサル事業などで予算を上回る収益を上げることができ、同出資金以外の借入金を返済することができた。

湘南スタイルを形成してくれているメンバー企業が、「ひと・もの・こと」を活用し、「課題」に対して市民・企業・行政・大学との連携を模索して「みんなが喜ぶ仕組み」を実践することが、地域課題解決の道となり、社会貢献活動につながるということを理解して欲しいと願うものです。

2005年開設時から丸14年間、湘南スタイル理事長を務めさせて頂き感謝の気持ち一杯です。本年、平成から令和へ年号の変わる節目に、退任させて頂くことになりました。新たなNPO 法人湘南スタイルをスタートするにあたり、市川新理事長及び執行部のもと皆さんの協力で、楽しく・希望に満ちた団体づくりを期待しています。ありがとうございました。

<第1号議案>

NPO 法人湘南スタイル 平成30年度事業報告

平成30年4月1日～31年3月31日

1. 日程 開催会議

理事会

第1回	5月22日	
第2回	7月 3日	
第3回	7月 4日	
第4回	9月 4日	
第5回	9月21日	臨時理事会
第6回	10月31日	臨時理事会
第7回	11月 6日	
第8回	1月15日	
第9回	2月14日	臨時理事会
第10回	3月12日	
定時総会	6月12日	臨時総会 平成31年3月19日

※30年度、理事会は基本隔月開催。

理事会の使命として、財務内容の健全化を目指し、会議を行った。

法人の組織運営・事業内容及び世代交代を図るため、PJリーダー会議と合同で開催し、PJの進捗状況を把握した。

次期理事長立候補届け出を8月20日締め切りを以って実施。1名立候補あり。理事会にて検討。次期理事長候補者決定。平成31年3月19日開催の臨時総会にて榊茅ヶ崎技研代表取締役、市川信治氏の承認を受ける。

定例会は下記の通り

定例会議 第1回	4月10日	
定例会議 第2回	5月 8日	
定例会議 第3回	7月10日	
定例会議 第4回	9月11日	
定例会議 第5回	10月 9日	
定例会議 第6回	11月13日	12月の定例会議は、忘年会（12月21日）
定例会議 第7回	1月15日	
定例会議 第8回	2月20日	

理事会 偶数月第1火曜日

定例会議 毎月第2火曜日

PJ会議 毎月第1火曜日

2. 実施事業報告

① 湘南スタイルみかんの木パートナーシッププログラム	10 年目
② ふれあい畑塾・エディブルパーク茅ヶ崎	6 年目
③ アグリビジネスコンサルティング事業	6 年目
④ 農産加工品販売「湘南工房」	6 年目
⑤ MaruhakuTV 運用業務委託	3 年目
⑥ JT・NPO 助成事業	3 年目
⑦ エディブルパーク茅ヶ崎	2 年目
⑧ 神奈川県基金 21 協働事業「湘南 100P J」	1 年目
⑨ 湘南スタイル HP の運営	14 年目

以上 9 の PJ も無事終了することができました。

本年度にて茅ヶ崎市の行政提案型協働事業から委託事業になった「茅ヶ崎まるごと発見博物館」事業がもう一年継続され、神奈川県基金 21 協働事業に採択された「湘南ワンハンドレッド P J」の初年度が終了し、あと 2 年間継続します。また、昨年度終了した「落書き防止アートペイント」事業から全国の小学校の図工の教科書に「河童徳利」の物語と浜之郷小学校の子供たちと描いた絵が採用され、今後 4 年間、全国の子供たちの教科書に掲載されることが決定しました。

3. 財務状況

各 PJ の努力で、平成 30 年度活動計算書を上回る結果で推移し、過去の負債を解消することができました。また、本年度も収益事業が 1000 万円を超え、5 年連続、消費税の納入業者となっています。アグリビジネスコンサルの事業により、業務受託が増え、収益増の結果をもたらすことができました。

4. 理事会

理事会は PJ リーダー会議と合同で実施した。

特定非営利活動に係る事業

<事業内容>

1. 湘南スタイル「みかんの木パートナーシップ」事業

<内容>大磯・二宮地区のみかんの木パートナーシップ組合から運営委託を受けサポートを行った。

組合参加農家数は 4 軒（二挺木・井上・北原・脇）

- ・収穫祭は 3 農家で 11/17（二挺木）11/24（北原）12/1（井上）に実施

みかんパートナーシップ応募口数は 67 口

東海大教養学部、東大みかん愛好会との産学連携並びに湘南スタイルメンバー

- ・(株)U-sen社とのコラボにより、農業廃棄物の摘果みかんが「青摘みみかん」として新たな農産物として製品化され、(株)神酒連と「青摘みみかんサワー」の開発が開始された。

・PJメンバー リーダー：市川（信）・久保田・中村・渡部

・対象者 みかん農家・一般消費者・企業

・決算額 企画・パンフ・イベント・みかん代金・加工品 194 万円

2. ふれあい畑塾

<内容>畑塾は鈴木塾長との連携により、東・西・南 3 か所計 38 区画で展開。本年度は、広報活動を抑えたため、3 月度切り替え時 8 区画の空きが出ている。

南区画の地権者である山宮さんの庭で開催する初夏のバーベキュー・秋の大収穫祭はいずれも 50 名ほどの人数で開催し、利用者の交流を図るとともに会員の交流も促進された。農水省から受託した「農と触れあいたい都市住民に向けた多様な取り組み」が、自主運営を始めて丸 5 年、順調に推移している。

3 月契約更新分については、仮受金として次年度会計に繰り入れ処理をした。

・PJメンバー リーダー：清水・渡部 指導者：鈴木

・対象者 農家・市民・企業

・決算額 企画・パンフ・イベント費 11 万円

3. 地場商材開発販売「湘南工房」

<内容>茅ヶ崎市産米使用の災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業とみかんパートナーシッププログラムから発展した湘南みかんの加工品及びトマトジュース等、地産地消を推進する農産加工品開発販売事業。

- ① 災害備蓄食糧「おかゆ」：茅ヶ崎市・社会福祉法人・リピーター含め 11000 食販売。

茅ヶ崎市のおかゆ購入は、前年度で終焉。茅ヶ崎市への入札に参加し 6,000 食落札。

- ② 農産加工品：地域資源活用・農業者支援・障がい者就労支援という切り口の元、販路が拡大している。横浜そごう・京急百貨店・大磯プリンスホテル・ゴルフ場 10 社ほか海老名サービスエリア・観光協会（茅ヶ崎・二宮町）・ふるさと納税（茅ヶ崎・二宮）など販路は広がっている。原材料としてのピューレも大手フードコートで取り扱いが開始された。

・PJメンバー リーダー：藁品 久保田・渡部

・対象者 農家・市民・企業・進和学園

・決算額 農産物仕入・資材・運賃・営業費 445 万円

4. アグリビジネスコンサルティング事業

＜内容＞6次産業化により、設置された進和学園しんわルネッサンス農産加工場販路開拓などについて助言、及び支援などコンサルタントとしての業務を推進した。

（社福）進和学園の支援事業として（公財）中央果実協会の事業を業務受託し、新商品開発に協力し、神奈川農林水産品マッチング商談会（1月28日）などに出展参加した。

- ・PJメンバー リーダー：久保田 渡部
- ・対象者 進和学園・県内JA・農家・全農神奈川・飲食業者・ホテル・観光業者
- ・決算額 人件費・企画費 74万円

5. MaruhakuTV 運用業務委託

＜内容＞協働事業からスタートし、運用してきた MaruhakuTV の継続運用とサイトの保守管理業務

①サイトのPR 動画の撮影・編集、記事の作成、Facebook の運用など

②アクセス解析・報告及びデータバックアップ等の対応

- ・PJメンバー リーダー：市川（靖）・（株）ボンド（法人会員）
- ・対象者 茅ヶ崎市民（特に実講座を受講できないユーザー）
- ・決算額 企画・運営・Web 掲載 88万円

6. JT 助成事業：担い手育成コミュニティ農園

＜内容＞平成 30 年度も引き続き助成事業として継続、「ふれあい畑塾」とは別の切り口での拡大として、2018 年 10 月に EdiblePark 茅ヶ崎をスタートさせた。学びのプログラムとしては、パイロット事業である「ふれあい畑塾」における様々なコミュニティ形成企画、および、EdiblePark での炭素循環農法での畑作業、ものづくりなどをテーマとした学びの企画を進めている。

- ・PJメンバー リーダー：清水・理事長
- ・対象者 地域住民
- ・決算額 企画・運営・イベント費・消耗品 105万円

7. エディブルパーク茅ヶ崎

＜内容＞2018 年 10 月に赤羽根地区に 800 坪の農地でスタートした。ふれあい畑塾と仕組みを変え、共有スペースでの利用と占有スペースの利用に分け、炭素循環農法を実践している長谷氏を指導者として迎え、多様なイベントの企画や現地体験などの仕組みで、募集活動を行っている。現在参加者はメンバー数は 11 組。イベントとしては、パーマカルチャー講座や、チキントラクターづくり、バンブーハウスづくり、ロケットストーブづくりなど開催。

本年度で、当該事業は、湘南スタイルPJから切り離し、**ヒトコトデザイン株式会社**へ業務移管することとした。

- ・PJメンバー リーダー：清水 藁品・渡部
指導者 ：長谷・石井
- ・対象者 地域住民
- ・決算額 企画・運営・イベント費・消耗品 109万円

8. 湘南ワンハンドレッドプロジェクト

＜内容＞かながわボランティア活動推進基金 21・協働事業負担金の事業を受託。3 年間事業として、神奈川県県民部基金事業課を通じ、総合政策課及び湘南地域県政総合センター企画調整課との連携によりスタート。3つのプロジェクト（まちのキャリアラボ、湘南 100CLUB、企業人向け越境プログラム）から構成され、3名のPJリーダー（中村・山口・清水）のもと事業を展開している。一般参加者も増え、2つのHP（・湘南ワンハンドレッドPJ・TAKURAM）を立ち上げ、広報活動を実践している。

・PJメンバー	総括責任者：藁品	
	リーダー：清水	
	サブリーダー：中村・山口	
・対象者	地域住民	
・決算額	企画・運営・イベント費・消耗品	732万円

9. NPO 法人 湘南スタイルのホームページ <http://www.shonan-style.jp> 及び Facebook、
＜内容＞各事業の進行状況や募集状況により、HP のプロジェクトページ、トピックスページを更新してきた。プロジェクト責任者が個々のPJ 頁を更新できるようシステムを構築済みである。新規事業、湘南ワンハンドレッドPJ のサイト構築を実施した。

・PJメンバー	リーダー：市川（靖）・市川（歩）	
・対象者	県内 SNS ユーザー・市民・農家・飲食業者・ホテル・観光業者等	
・決算額	Web 構築・追加・変更	6万円

その他の事業

①ポータル Web サイト広告事業	
②その他の広告募集事業	0円

3. 組織

(1) 会員

正会員	15名	会員	18名	賛助会員	1名	アドバイザー	2名
理事長	藁品	理事	中村	海老名			
監事	一杉						

正会員 15名

藁品孝久（ビル賃貸業）	中村雅和（社会保険労務士）	海老名健太郎（会社員）
市川信治（機械設計）	一杉繁（市民活動家）	久保田邦邇（市民活動家）
市川靖洋（デザイン業）	清水謙（コンサル）	西村誠（建設業）
市川歩（デザイン業）	宮治勇輔（養豚業）	坂田美保子（NPO 代表）
渡部健（コンサル）	竹村治亘（自転車卸売業）	杉村一憲（市民活動家）

会員 20 名

安部比呂	(会社員)	井出朋子	(野菜ソムリエ)	嶋田英雄	(農業関連)
永田てるじ	(県会議員)	山本高大	(NPO 代表)	鈴木稔彦	(農家)
吉川宗孝	(行政)	菊池奈々	(食アドバイザー)	石田秀樹	(会社員)
高橋行一	(造園業)	山宮立珠	(ピアノ教師)	山宮麻衣	(会社員)
米山有子	(主婦)	米山守	(市民活動家)	木津潤平	(一級建築士)
菊池小夏	(会社員)	山川孝徳	(会社員)	川崎実知朗	(IT デザイナー)
山口順平	(会社員)	中村容	(会社員)		

賛助会員 1 名

神戸幸男

法人会員 2 社

(株)ボンド (株)茅ヶ崎技研

アドバイザー 2 名

川廷昌弘 吉田誠

名誉顧問 2 名

竹村治亘 杉村一憲

<第2号議案> 平成30年度 活動計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科 目	予算	決算額	備 考
I 収入の部			
1 会費・入会金収入	200,000	177,000	年額 12000円×13名/ 3000円×17名
2 法人会費	30,000	60,000	1社
3 法人事業収入	90,000	314,158	制作物
4 講演料収入	100,000	90,260	講演2～3回
5 湘南スタイル交流会・イベント費	30,000	30,000	総会報告会会費1500円×20名
6 湘南みかんパートナーシップ事業	2,200,000	2,742,440	みかんパートナー63口・みかん
7 ふれあい畑塾	2,000,000	394,938	畑塾13組×22,518円+ 25組×27千円0円
8 地場商材開発販売「湘南工房」	6,000,000	5,522,634	おかゆ・みかん・トマト・原材料等
9 アグリビジネスコンサル事業	1,000,000	1,470,821	進和学園
10 茅ヶ崎ふるさと発見まるごと博物館	1,200,000	1,270,080	茅ヶ崎市委託事業
11 JT NPO助成	1,500,000	1,509,842	NPO助成・担い手育成コミュニティ農園
12 エディブルパーク	3,400,000	1,095,500	エディブルパーク茅ヶ崎(13組)
13 ワンハンドレッドPJ	8,700,000	7,321,807	神奈川県ボランティア活動基金21受諾事業
14 湘南スタイルHP運用	60,000	0	
当期収入計(A)	26,510,000	21,999,480	
その他収益事業会計より繰り入れ	50,000	0	
当期収入合計 (A)	26,560,000	21,999,480	
II 支出の部			
1 事業費			
講演・イベント支出	50,000	0	会費・イベント等
①湘南みかんパートナーシップ事業	1,800,000	1,948,244	みかん・パートナーシップみかん代金
②ふれあい畑塾	1,100,000	114,981	自主事業 直接費
③地場商材開発販売「湘南工房」	4,700,000	4,453,543	おかゆ・みかん・トマト・原材料等
④アグリビジネスコンサル事業	600,000	747,707	進和学園
⑤まるごと博物館	950,000	881,280	動画撮影:業務委託含む
⑥JT NPO助成	1,050,000	1,509,842	NPO助成・担い手育成コミュニティ農園
⑦エディブルパーク	2,400,000	1,056,149	地代1年間免除・自主事業費
⑧ワンハンドレッドPJ	6,700,000	7,321,807	基金21実事業費
⑨湘南スタイルHP運用	60,000	0	株bond協賛
当期事業支出(B)	19,410,000	18,033,553	
2 管理費			
① 給料手当	2,100,000	2,223,846	団体運営費(人件費・その他)
② 事業人件費	500,000		諸事業人件費
③ 運賃	120,000	82,993	みかん・おかゆ等、ヤマト運輸他
④ 会議費	120,000	137,749	勤労市民会館、チガラボ・プロジェクト会議
⑤ 旅費交通費	200,000	83,983	レンタカー・交通費等
⑥ 通信費	120,000	166,461	電話・郵便・新聞
⑦ 消耗品費	120,000	97,174	事務関連
⑧ 水道光熱費	60,000	64,800	5400円/月×12ヶ月
⑨ 諸会費	80,000	800	諸会費・寄付交際費
⑩ 支払手数料	20,000	81,011	振込料、代引手数料
⑪ 賃借料	700,000	673,920	事務所借料・イベント会場費
⑫ 保険料	100,000	50,848	NPO団体保険料
⑬ 租税公課	300,000	277,950	消費税・法人税・県民税・収入印紙
⑭ 雑費	10,000	0	記事掲載新聞購入
⑮ 顧問料	280,000	284,844	税理士(決算処理)・社会保険労務士
⑯ 印刷費	200,000	73,341	コピー・パンフレット
⑰ Webコンテンツ制作費	300,000		全事業Web関係
⑱ イベント費	20,000	48,122	イベント費
事業管理費計(C)	5,350,000	4,347,842	
当期事業支出 (D) (B)+(C)	24,760,000	22,381,395	
事業費振替額(E)		3,202,485	
当期収益 (F)=(A)-(D)+(E)	1,750,000	2,820,570	
その他事業会計より繰入	50,000	0	
営業外損益 (G)	300,000	283,338	受取利息・支払利息(283,352)雑収入(186,125)
経常利益 (H)=(E)-(F)	1,500,000	2,537,232	
次期繰越金	1,500,000	2,537,232	

<第2号議案> 令和元年度 活 動 計 算 書

(その他事業に係る事業会計)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科 目	予算	決算	備 考
I 収入の部			
1 事業収入			
① Web広告事業収入	0	0	
② その他広告事業収入	0	0	
当期収入合計(A)	0	0	
II 支出の部			
1 事業費			
①ポータルサイト広告募集事業			事業計画書(その他の事業)のとおり
WEBサーバー設置費	0	0	サーバー構築費
通信費	0	0	インターネット回線
②その他の広告募集事業	0	0	
2 管理費			
消耗品費			
通信費			
研修費			
会議費			
当期支出合計(B)	0	0	
当期収支差額(A)-(B)	0	0	特定非営利活動事業会計へ繰入

<u>＜第2号議案＞ 貸 借 対 照 表</u>	
<u>(特定非営利活動に係る事業会計)</u>	

平成31年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産計】	【 6,138,440 】	【流動負債】	【 4,350,438 】
現 金	17,745	買掛金	1,263,614
普通預金	4,425,896	未払金	422,324
商品	16,588	預り金	41,407
前払費用	63,250	仮受金	2,623,093
未収入金	1,614,961		
【固定資産】	【 732,960 】	【固定負債】	【 6,724,000 】
敷 金	732,960	長期借入金	6,724,000
		負債の部合計	11,074,438
		純資産の部	
		【株主資本計】	【 -6,740,270 】
		【資本金】	【 720,000 】
		当期純損益金	2,537,232
		【利益剰余金計】	【 -6,740,270 】
		繰越利益剰余金	-4,203,038
		純資産合計	-4,203,038
資産の部合計	6,871,400	負債・純資の部産合計	6,871,400

<u>貸 借 対 照 表</u>	
------------------	--

(その他事業に係る事業会計)

平成31年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産計】	【 0 】	【流動負債】	【 0 】
【固定資産】	【 0 】	【固定負債】	【 0 】
敷 金		長期借入金	
		負債の部合計	0
		純資産の部	
		【株主資本計】	【 】
		【資本金】	【 】
		【利益剰余金計】	【 0 】
		繰越利益剰余金	0
		純資産合計	0
資産の部合計	0	負債・純資の部産合計	0

＜第2号議案＞ 平成30年度財産目録

平成31年3月31日 現在
(特定非営利活動に係る事業会計)

	科目	摘要	金額	合計
資産	現金	手許現金在高	17,745	
	普通預金	湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部	2,624,595	
		湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部	1,760,593	
		さがみ農協 茅ヶ崎支店	30,986	
		湘南農協 八重咲支所	9,722	
	商 品	期末在庫 みかん加工品	16,588	
	前払費用	湘南信用金庫 保証料	63,250	借入 500万口
	未収入金	茅ヶ崎市 他10件	1,614,961	
	敷金	ワラシナビル 他1件	732,960	
負債	買掛金	進和学園 他1件	1,263,614	
	未払金	(株)黄色いりぼん 他2件	422,324	
	預り金	源泉所得税	41,407	
	仮受金	県民活動 他2件	2,623,093	
	長期借入金	政策金融公庫 劣後ローン	5,000,000	
		湘南信用金庫 500万口	1,724,000	

平成30年度財産目録

平成31年3月31日 現在
(特定非営利活動に係る事業会計)

	科目	摘要	金額	合計
資産				
			0	
負債				
			0	

上記のとおりご報告申し上げます。

令和元年6月5日

特定非営利活動法人 湘南スタイル

理事長 藁 品 孝 久

理 事 海 老 名 健 太 郎

理 事 中 村 雅 和

監査の結果、いずれも適法かつ妥当であることを認めます。

監 事 一 杉 繁

〈第2号議案〉

平成30年度監査報告

平成30年度、湘南スタイル監査報告

令和元年6月5日午後5時、ワラシナビル5階の当法人事務所において、会計原簿
並びに預貯金の調査を実施し、報告書の取り間違いのないことを確認いたしました。
ここに報告いたします。

令和元年6月5日

茅ヶ崎市みずき1丁目10番12号

監事 一杉 繁 

<設立からの経緯>

実施時期	活動実績	活動の目的
西暦 2005年6月 ～2006年3月	1. 湘南地域ポータル Web サイト構築準備 (http://www.shonan-style.jp) 2. メンバー拡大（設立時正会員 14 名） 3. 自主運営事業創出活動模索 4. 国・県・茅ヶ崎市等公的機関連携模索 5. 産学連携先模索	●地域貢献・社会貢献や人間関係の形成を基盤とする「持続可能な社会づくり」の実現に向け、地域の活性化活動と自己実現を共生させる研鑽の場として 2005 年 6 月、まちづくり NPO 法人設立。 ・地域のためになるかどうか ・人のためになるかどうか を行動の第一選択事項として活動しています。
西暦 2006年4月 ～2007年3月	1. 湘南地域ポータル Web サイト 5 月 1 日立上げ 2. メンバー拡大（協賛会員拡大 8 名） 3. 湘南ブランド創出事業・人參湘酎さん開発発売 4. 神奈川県コミュニティビジネスオーディション入選 5. 神奈川県創業実現モデル事業支援対象事業者認定	●地域の活性化は、地域内で活動する、市民・NPO、産業者（商業・工業・漁業・農業）、公共機関の 3 分野をつなぐ中間支援組織の役割が重要である。さらに、単一の市域の枠を超えて、隣接するエリアをつなぐ広域連携が重要と考え、ポータルサイトの充実と神奈川県との連携強化を視野に入れた事業を行った。
西暦 2007年4月 ～2008年3月	1. 湘南地域ポータル Web サイトの充実 2. 慶應大学 S F C との連携による地域コミュニティ創出検証事業・浜降祭インターネットライブ中継の実施 3. ペロタクシー運行事業（環境エネルギー問題啓発事業） 4. メンバー拡大（正会員 14 名・賛助会員 21 名）	●当該年度の目標は、「産・官・学・民」の枠組みを築くため、慶應大学・文教大学、日本大学等、エリア内の大学との連携を行い、湘南地域の活性化をテーマに進める各校の教授・准教授との親交を深めた。市民や観光客の環境・エネルギー問題に関する意識高揚と省エネ型の交通手段の実証実験を目的として、公的機関の協力を得て、人が多く集まる夏季に人カタクシーを運行した。
西暦 2008年4月 ～2009年3月	1. 湘南地域ポータル Web サイトの充実 2. 茅ヶ崎市市民提案型協働推進事業「おいしい茅ヶ崎」受託 (http://oishi-chigasaki.com/) 3. 茅ヶ崎市産米使用・災害備蓄食糧「おかゆ」開発発売 2009 年 2 月 14,000 食完売（茅ヶ崎市 8,000 食納入） 4. メンバー拡大（正会員 14 名・賛助会員 28 名）	●「まちづくり NPO 法人」としての 3 年間の事業活動から、地域活性化の啓発・推進には、市民・産業・行政の 3 分野の全てにかかわりの深い「食と農」が最も効果的であると考え、地産地消の推進・安心安全な食・フードマイレージなど地域課題解決に向けた事業を実施した。その結果、茅ヶ崎市や農業者・産業者の協力が増え、Web アクセスからメンバー拡大につながった。
西暦 2009年4月 ～2010年3月	1. 湘南地域ポータルサイトの充実 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかん（加工品/みかん狩り/観光ツアー）発売 6. 東海大学教養学部連携・湘南ブランド創出 P J 開始 ○経済産業省・まちづくり活動支援融資（政策金融公庫出資金、劣後ローン第一号）	●2009 年度は、メディア取材が増え、湘南地域の活性化を担う NPO としての認知度も高まった。2010 年度実施する「ふれあい田んぼ塾」は、茅ヶ崎市の学童保育に通う学童が 80 名参加し、収穫後に、災害備蓄食糧「おかゆ」に生まれ変わる稲作栽培を実施する予定となっている。また東海大学の教養学部との連携により、地域の活性化と実践的な教育の場の創出を目的として、学年横断型全体授業として、当該事業「湘南まるごと交流空間」を実施する。

西暦 2010年4月 ～2011年3月	1. 湘南スタイルソーシャルメディアの活用（HP/ Facebook /Twitter）運営・管理 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかんパートナーシップ（加工品/みかん狩り/観光ツアー）発売 6. 東海大学教養学部連携・湘南ブランド創出PJ開始 7. 「農(みのり)の駅」創出PJ 8. 茅ヶ崎市農業振興アドバイザー協定	●設立6年度目として、総事業費が、ようやく1000万円を超えるところまで、到達。しかし、依然として、不足資金が当該年度50万円、累計で850万円。湘南スタイル「みかんの木・パートナーシップ」プログラムが、コミュニティビジネスの範として、評価され、神奈川県協働事業として決定。同時に、日本財団の助成事業としても決定。かながわビジネスオーディションにおいて、奨励賞・CB賞・日本経営士会賞を受賞。地産地消推進団体として、農林水産省より表彰。
西暦 2011年4月 ～2012年3月	1. 湘南スタイルソーシャルメディアの活用（HP/ Facebook /Twitter）運営・管理 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかんパートナーシップ（加工品/みかん狩り/観光ツアー）発売 6. 農水省6次産業化委託事業 7. 神奈川県緊急雇用創出委託事業 8. 茅ヶ崎市農業振興アドバイザー協定	●神奈川県との協働事業を開始したことで、初めての職員を採用でき、組織運営が潤滑になった。また、期中に農水省並びに神奈川県からの事業委託を受託。総収入が前年度実績の3倍、累積の欠損を穴埋めすることができ、大きく飛躍した年度となった。 茅ヶ崎市との連携も進み、「農の駅」創出のための官民連携として、ちがさき百年プロジェクト（協働推進）が関連8課と連携して勉強会がスタート。
西暦 2012年4月 ～2013年3月	1. 湘南スタイルソーシャルメディアの活用（HP/ Facebook /Twitter）運営管理 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかんパートナーシップ（加工品/みかん狩り/観光ツアー）発売 6. 茅ヶ崎市協働事業：お父さん・お母さんのための子育て情報サイト「FuboLabo ちがさき」開設 7. 茅ヶ崎市「柳島向河原地区アクションプラン作成業務」委託事業	●設立時 ・湘南独自のポータルサイト運営 ・異業種混合地域統一ブランドの開発、プロデュース ・湘南「海の駅・山の駅」設置提案 以上3点の実現に向け、事業をスタートさせてきたが、当該年度、茅ヶ崎市との8課連携により、柳島地区のアクションプランを作成、設立時の目標に近づいたと実感する年度となった。
西暦 2013年4月 ～2014年3月	1. 茅ヶ崎市協働事業「おいしい茅ヶ崎」 2. 茅ヶ崎市協働事業「FuboLabo」 3. 茅ヶ崎市協働事業「文化生涯ポータルサイト」 4. 神奈川県協働事業「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 5. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 6. ふれあい田んぼ塾 7. ふれあい畑塾 8. 6次産業化推進事業「農産品加工工場建設」促進事業	●設立8年目にして、消費税の課税NPO事業者となり、税務の面においても社会貢献するNPOとなったことは感慨深い。これまで実践してきた、コミュニティビジネスに関する講演依頼が、県内から4か所あった。 ●農水省6次産業化事業で、連携先である、平塚の社会福祉法人「進和学園」に農産加工場設置が決定し、平成26年度運用が開始される。就労支援・農業支援を通じ、県内初の試みを進めるため、販路開拓・広報支援を依頼され、コンサルタント事業を開始する。
西暦 2014年4月 ～2015年3月	1. 茅ヶ崎市協働事業「おいしい茅ヶ崎」 2. 茅ヶ崎市協働事業「FuboLabo」 3. 神奈川県協働事業「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 4. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業	市民・産業者・行政をつなぎ、地域活性化が活動を推進するため、「食と農」を通じた公的機関との連携を目的に助成金の公募にエントリーし、受託され関係を築いてきた。しかしながら、

	5. ふれあい田んぼ塾の運営 6. ふれあい畑塾の運営 7. 6次産業コンサルティング事業 8. 「湘南工房ブランド」開発事業	●神奈川県協働事業（4年間）の最終。 ●農水省農ある暮らしづくり交付金（上記、2事業を持続可能な仕組みへの移2年間）の最終年度。行させることが、助成金を活用する本来の意義であるが、受託金額が大きいほどその難しさを感じており、規模を縮小して継続事業とする。
西暦 2015年4月 ～2016年 3月	1. 茅ヶ崎市協働事業「おいしい茅ヶ崎」 2. 茅ヶ崎市協働事業「FuboLabo」 3. 神奈川県協働事業「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 4. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 5. ふれあい田んぼ塾の運営 6. ふれあい畑塾の運営 7. 6次産業コンサルティング事業 8. 「湘南工房ブランド」開発事業 9. 茅ヶ崎市行政提案型協働事業にエントリー、2件の協働事業の採択が決定。	「みんなで創る湘南スタイル」のスローガンのもと、新たな10年に向かってスタートした。 国・県・市の助成事業が終了し、団体として自主運営していくことができるかどうかを問われる年度となった。 同時に、メンバーの新旧交代に時期に入っており、組織運営について、一年の理事会を通じて、定款の目的・会員区分の変更などを含め、活動メンバーや新規参加メンバーに対し、解りやすいパンフレットや組織体制図を作成 東大みかん愛好会・JT Bと連携して、みかん観光列車を小田原迄運行した。
西暦 2016年4月 ～2017年 3月	1. 湘南スタイルホームページ運営事業 2. 「おいしい茅ヶ崎」茅ヶ崎市経済部委託事業 3. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 4. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 5. ふれあい畑塾の運営 6. 6次産業コンサルティング事業 7. 「湘南工房ブランド」開発事業 8. 茅ヶ崎市行政提案型協働事業「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」 9. 茅ヶ崎市行政提案型協働事業「落書き防止・抑制のためのペイント事業」 10. JT 財団 NOP 助成事業 11. その他の事業	茅ヶ崎市行政提案型協働事業にエントリーし、茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業並びに落書き防止のためのアートペイント事業をそれぞれ2年間に渡り実施している。2事業とも友好他団体との連携で事業を進めている。 また、JT 財団 NPO 助成事業に「ふれあい畑塾」関連で、事業を受託した。 事業受託により、畑塾メンバーの活動費が生まれ、実験農地として、炭素循環農法などを研究している。 別途、(財)食品産業センター及び(財)中央果実協会からの声がかかり、左記10・11の事業を実施した。単年度事業であり、かつ団体活動に直接関連する事業でなかったにもかかわらず、負担が大きかった。
西暦 2017年4月 ～2018年3月	1. 湘南スタイルホームページ運営事業 2. 「おいしい茅ヶ崎」茅ヶ崎市経済部委託事業 3. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 4. ふれあい畑塾の運営 5. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 6. アグリビジネスコンサルティング事業 7. 「湘南工房ブランド」開発販売事業 8. 「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」：茅ヶ崎市協働事業 9. 「落書き防止・抑制のためのペイント事業」：茅ヶ崎協働事業 10. JT 助成担い手育成事業 11. エディブルパーク茅ヶ崎運営事業 12. その他の事業	NPO活動は、企業も同様であるが、組織運営維持のための収入をどう確保する仕組みを創るかにかかっている。ただ、NPOは、企業と違い社会貢献活動を事業構造の中心に据え、CB/ SBの手法を使い、自己の持つ社会課題を解決する仕組みをメンバーの英知や行動で実現する楽しみがある。 社会課題は、行政も多くを抱えており、その解決策を補助金・助成金や委託事業として募集している。それらをよく見極め活用していくことも重要なファクターであり、本年度も茅ヶ崎市から3事業とJTの4事業が。さらには、みかん、畑、農産加工、6次産業化など多くの事業が関係している。

西暦 2018年4月 ～2019年3月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 農産加工品・おかゆ普及啓発販売事業 4. アグリビジネスコンサルティング事業 5. 「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」：茅ヶ崎市委託事業 6. JT 助成担い手育成事業 7. エディブルパーク茅ヶ崎運営事業 8. 神奈川県ボランティア活動基金 21 協働事業「湘南ワンハンドレッドPJ」 9. 湘南スタイルホームページ運営事業	新年号「令和」に代わる 2019 年度は、設立以来、理事長を務めてきた藁品から新理事長市川信治（茅ヶ崎技研㈱代表取締役）氏に引き継ぐ。 開設時から 5 年間に積み重ねていた負債を軽減するために経費の削減と新規事業及び業務委託を受け、湘南工房製品の販路開拓及び新商品開発を実施したことで、収入を増加させ、次年度の負担を軽減することができた。 神奈川県から NPO 研修を毎年受入れているが、その中で、新たな連携が始まり、二宮町も含め農産加工品の商品開発・販路拡大が開始された。また、新たに神奈川県とスタートしたボランティア活動基金 21 の協働事業のお蔭で、メンバーも増え団体の運営に明るい兆しが見えてきている。 昨年度から実施してきた、エディブルパーク茅ヶ崎は、事業主体者へ業務を移管した。
------------------------------------	--	---

令和元年事業計画

＜基本方針＞

元号が平成から令和と変わり、春の訪れを告げ見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いを込めた新たな時代がスタートしました。

湘南スタイルも 14 年間の理事長職を務めた薫品理事長に代わり私、市川が新たに理事長を務める事となりました。時代と共に湘南スタイルも変化の年となります。

身の回りでは、働き方改革、副業の解禁、大手企業経営者の「終身雇用は難しい」との発言等、労働環境の変化や粉飾決算・データ改ざんなど利益追求のみで本来の目的を見失い資本主義経済の悪い分が現れ、先が見えない経済社会、更に AI の進化により AI に仕事を置き換えることで自由な時間が増えるメリットがある一方で完全に置き換えられた仕事の減少、置き換えられない人にしか出来ないスキルを身に着ける必要性等、多くの課題があります。

働き方改革によって生まれた時間を「湘南スタイル」の社会貢献活動に参加する事により個人のスキルアップまた、ネットワークを広める事も可能ですし、仕事で体験出来ない喜びも体験出来ます。また、関わる皆が WIN-WIN のコミュニティ経済社会を目指し未来に残せる持続可能な仕組み作り、AI ではなく人にしか出来ない「ヒト・モノ・コト」を活用した仕組み作り、設立時に掲げた理念が今、それぞれの花を大きく咲かせる時ではないでしょうか、各 PJ を通して問題解決に取り組み地域社会に貢献して行きたいと思えます。

＜PJ リーダー会議＞

各 PJ の情報共有と進捗状況連絡。メンバーへの情報発信。

他 PJ への協力・提案・進言

＜会議＞

総 会	6月第2火曜日
理事会	偶数月第1火曜日 18：00～
PJ リーダー会議	毎月第1火曜日 10：00～
定例会	毎月第2火曜日 18：30～

実施事業

特定非営利活動に係る事業

① 湘南スタイル「みかんの木パートナーシップ」事業

＜内容＞ 引き続きみかんの木パートナーシップ組合の自主運営を促進する為に支援を行います。組合参加農家数は4軒（二挺木・井上・北原・脇）。二宮町や大磯町ともみかん狩り後の観光等での協力体制を模索する。

東大みかん愛好会主催のお花見・夏合宿の支援を行うと同時に関連団体、企業との連携を積極的に進めて行きます。パートナー募集は前年度並みを予定。

今年度は11/16（二挺木）11/23（北原）11/30（井上）に開催予定

- ・PJメンバー リーダー：市川（信） スタッフ・久保田・井出・吉田
- ・対象者 みかん農家・JA 湘南・地元ボランティア・神奈川県・農業技術センター・加工業者・観光会社・CSR 推進企業・消費者
- ・予算額 企画・広報・パンフ・会議費・材料費・人件費等 180 万円

② ふれあい畑塾事業

＜内容＞ 農と触れ合いたい市民・企業と農家を結ぶ地域コミュニティ創出事業。地域振興プログラムとして持続可能な仕組みとして自主運営。

38 区画のユーザーとのコミュニティづくりの充実。

- ・PJメンバー リーダー：渡部 鈴木塾長
- ・対象者 畑ユーザー・湘南スタイルメンバー
- ・予算額 入園料・講師料・イベント費・会場費・情報発信 30 万円

④ 地場商材開発販売「湘南工房」・農産加工品・おかゆ

＜内容＞ 地産地消・農家支援・規格外農産物の活用・障害者の就労支援が出来る商品として、取り扱い企業の CSR に繋がる営業を展開し、新規の売り先の拡大を図る。

今回新たに開発したドレッシングやソースなども合わせ「湘南工房」のブランド力向上を図る。

- ・PJメンバー リーダー：渡部 藁品・久保田
- ・対象者 デパート・ホテル・飲食店・ゴルフ場・小売店等 ギフト商材
- ・予算額 原料仕入・パンフレット・配送料・梱包資材・人件費等 470 万円

⑤ アグリビジネス事業

＜内容＞ 社会福祉法人進和学園しんわろネッサンス加工場発展に資する為、主にマーケティング推進などについて支援、連携事業、販路拡大。

- ・PJメンバー リーダー：久保田 藁品・渡部 協力：農業技術センター
- ・対象者 進和学園・県内 JA・農家・全農神奈川・飲食業者・ホテル・観光業者

・予算額 人件費・企画費

80万円

⑤ MaruhakuTV(<https://www.maruhaku.tv>)保守管理及び運用サポート事業

＜内容＞ 協働事業及び委託事業として茅ヶ崎市社会教育課と協働運用を継続している Maruhaku TV の保守管理及び、市職員によるサイト運用のサポートを行う。

・PJメンバー リーダー：市川(靖)・市川(歩)

・対象者 茅ヶ崎市内外のユーザー

・予算額

25万円

⑥ 湘南ワンハンドレッド・プロジェクト

＜内容＞ 新規プロジェクトとして企画～実行を重ねる。

H30年度 神奈川県ボランティア基金 21 協働負担金事業。

・PJメンバー リーダー：清水 山口・中村・四条

・対象者 神奈川県内の個人・企業・各種団体

・予算額 講師料、イベント費、情報発信、会場費

670万円

⑧ 新規事業（案）

転居促進のためのシティープロモーションウェブサイトの構築・運用及びイベントの実施業

＜内容＞ 茅ヶ崎市のシティープロモーションウェブサイトの構築・運用及びイベントの実施(年2回)。7月からの9カ月間事業となる。担当課は企画経営課。

※国補助金申請中の段階のため、現時点での事業実施は未定。

・PJメンバー リーダー：市川(靖)・市川(歩)

・対象者 茅ヶ崎市外のユーザー

・予算額

160万円

⑨ 湘南スタイルHP・facebookの運営・編集・管理 <http://www.shonan-style.jp>

＜内容＞各事業の進行状況や募集状況により、HPのプロジェクトページ、トピックスページを更新。毎月事務局と定例ミーティング及び定例会で各プロジェクトリーダーから更新内容を確認。facebookの日常的な運用は事務局及びプロジェクト担当とし、当プロジェクトでは広告運用などを担う。

・PJメンバーリーダー：市川靖洋 (株)ボンド Webサイト管理者：運営部

・対象者 全国インターネットユーザー

・予算額 Web構築・追加・変更

30万円

令和1年度 収支予算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

科 目	予算	法人繰入収入	備 考
I 収入の部			
1 会費・入会金収入	200,000	200,000	年額 12000円×13名/3000円×17名
2 法人会費	90,000	90,000	3社
3 法人事業収入	90,000	90,000	制作物
4 講演料収入	100,000	50,000	講演2～3回
5 湘南スタイル交流会・イベント費	30,000	0	総会報告会会費1500円×20名
6 HP運用費	600,000	0	
7 湘南みかんパートナーシップ事業	2,200,000	400,000	みかんパートナー63口・みかん
8 ふれあい畑塾	1,000,000	700,000	畑塾33組×21000円
9 地場商材開発販売「湘南工房」	6,000,000	1,300,000	おかゆ・みかん・トマト・原材料等
10 アグリビジネスコンサル事業	1,000,000	200,000	進和学園
11 茅ヶ崎ふるさと発見まるごと博物館	300,000	50,000	茅ヶ崎市委託事業
12 ワンハンドレッドPJ	8,280,000	1,580,000	神奈川県ボランティア活動基金21受諾事業
13 新規事業	2,000,000	400,000	新規事業
当期収入計(A)	21,890,000	5,060,000	
その他収益事業会計より繰り入れ	50,000	50,000	
当期収入合計 (B)	21,940,000	5,110,000	
II 支出の部			
1 事業費			
①湘南スタイルHP運用費	300,000		50,000円/月×12ヵ月
②講演・イベント支出	50,000		会費・イベント等
③湘南みかんパートナーシップ事業	1,800,000		みかん・パートナーシップみかん代金
④ふれあい畑塾	300,000		自主事業 直接費
⑤地場商材開発販売「湘南工房」	4,700,000		おかゆ・みかん・トマト・原材料等
⑥アグリビジネスコンサル事業	800,000		進和学園
⑦まるごと博物館	250,000		動画撮影:業務委託含む
⑧ワンハンドレッドPJ	6,700,000		神奈川県ボランティア活動基金21受諾事業
⑨新規事業	1,600,000		新規事業
当期事業支出(B)	16,500,000		
2 管理費			
① 給料手当	1,400,000		団体運営費(人件費・その他)
② 事業人件費	800,000		諸事業人件費
③ 運賃	120,000		みかん・おかゆ等、ヤマト運輸他
④ 会議費	120,000		勤労市民会館、チガラボ・プロジェクト会議
⑤ 旅費交通費	120,000		レンタカー・交通費等
⑥ 通信費	120,000		電話・郵便・新聞
⑦ 消耗品費	120,000		事務関連
⑧ 水道光熱費	60,000		5000円/月×12ヶ月
⑨ 諸会費	80,000		諸会費・寄付交際費
⑩ 支払手数料	20,000		振込料、代引手数料
⑪ 賃借料	700,000		事務所借料・イベント会場費
⑫ 保険料	100,000		NPO団体保険料
⑬ 租税公課	480,000		消費税・法人税・県民税・収入印紙
⑭ 雑費	20,000		記事掲載新聞購入
⑮ 顧問料	280,000		税理士(決算処理)・社会保険労務士
⑯ 印刷費	120,000		コピー・パンフレット
⑰ Webコンテンツ制作費	300,000		全事業Web関係
⑱ イベント費	20,000		イベント費
事業管理費計(C)	4,980,000	0	
当期事業支出 (D) (B)+(C)	21,480,000		
当期収益 (E)=(B)-(D)	410,000		
その他事業会計より繰入	50,000		
営業外損益 (F)	100,000		受取利息・支払利息
借入金返済支出	360,000		
経常利益 (G)=(E)-(F))	360,000		
次期繰越金	0		